



デジタル メディア システ ム800 シリーズ

オペレーターおよび製品の安全ガイド



目次

はじめに	
3M 製品のご選択への感謝	197
安全情報	
使用目的:	198
これらの取扱説明書の保存	200
箱の中身	
発送品	202
次に行うこと	202
製品説明	
機械特性	203
部品確認リスト	203
据付けおよびシステム セットアップ	
プロジェクターの組立て	204
プロジェクターのリモート コントロール	
リモート コントロール機能	208
基本操作	
プロジェクター起動	209
スタンバイ モード	209
プロジェクターの電源故障	209
画像調整	210
メニュー ナビゲーション	210
トラブルシューティング	
よくある問題および解決方法	219
オンスクリーン メッセージ	220
保守	
映写用ランプの交換	221
ランプ時間リセット	222

はじめに

3M 製品のご選択への感謝

3M 製品をお選びいただきありがとうございます。本製品は、3M の品質および安全の規格に従って生産されており、末永く円滑に故障なくご使用いただけます。

最適な性能を発揮させるには、操作説明書に注意深く従ってください。この高性能の製品を、会議、プレゼンテーション、講習会等で楽しんでご使用いただけると幸いです。

安全情報

この 3M™ デジタル メディア システム 800 / デジタル メディア システム 8XX のご使用前に、これらの取扱説明書に記載されている安全情報を全てお読みになり、ご理解の上、順守されるようにお願いします。これらの説明書は、後で参考にするために保管してください。

使用目的:

3M™ 電子式デジタル メディア システム 800 / デジタル メディア システム 8XX は、3M™ ブランドのランプ、3M™ブランドの壁取付金物類および公称地域電圧を使用して、屋内用として設計、構築および試験を行いました。このプロジェクターは、ご家庭での使用または子供の使用は対象としておりません。他の交換用ランプ、屋外での操作または他の異なる電圧の使用については、試験しておりませんので、プロジェクターまたは周辺機器に損害を与え、潜在的に危険な動作条件を創り出す可能性があります。

3M™ マルチメディア プロジェクターは、通常のオフィスおよび家庭環境での使用を対象にしています。

- ・ 16°C～29°C (60°F～85°F)
- ・ 相対湿度 10%～80% (結露無し)
- ・ 海拔 0～1828 m (0～6000 フィート)

周囲動作環境は、プロジェクターの動作または性能に影響を及ぼす可能性のある、空中に浮遊する煤煙、グリース、油およびその他の汚染物質がないものにしてください。

本製品をこれと反対の条件でご使用になる場合、本製品の保証は、無効になります。

安全ラベルおよび安全のしおりに記載されている信号語およびシンボルの説明

警告: 回避できない場合、死亡または重傷および物的損害が生じる可能性がある、潜在的に危険な状態を示します。

注意: 回避できない場合、軽微または中程度の負傷および物的損害が生じる可能性がある、潜在的に危険な状態を示します。



警告: 危険電圧



注意: 熱面 - 高温ランプ



注目: 添付の付属文書をお読みください。

⚠ 警告

- ・ 危険電圧に伴う危険の回避：
 - ランプ交換説明書に明記されているもの以外のネジを外さないでください
 - プロジェクターは、常に、接地されたコンセントに接続してください
 - 湿潤環境では使用しないでください
 - 屋外環境では使用しないでください
 - 電源コードは、損傷した場合交換してください
 - 日常的なランプ交換以外は、プロジェクターの修理をしようと試みないでください。修理は、3Mに認可された修理業者のみが行うようにしてください。ユニット内部には、映写用ランプ モジュールの他に、ユーザーが修理できる部品はありません。
 - 本プロジェクターまたは電源コードを改造しないでください
 - プロジェクターの不使用时、ランプの交換時および清掃時は、電源コードを抜いてください
 - 水などの液体をプロジェクターの内部に入れないでください
 - ・ 危険電圧および火災に伴う危険の回避：
 - 適切な定格の延長コードをご使用ください。ご質問がある場合は、電気の専門家にご相談ください。
 - ・ ランプ カートリッジの熱面に伴う危険の回避：
 - ランプ交換する前に、少なくとも45分間待ってランプ アセンブリを冷ましてください
 - ・ のどの詰まりに伴う危険の回避：
 - 電池を子供やペットの近くに置かないでください
 - ・ 水銀による環境汚染に伴う危険の回避：
 - Hg: 本製品のランプには水銀が含まれています。ランプは、地域、州または連邦政府の法律に従って廃棄してください。 www.lamprecycle.org をご覧になるか、または 1-800-328-1371 にお電話をご覧ください。
 - ・ ランプの破裂に関係する危害に伴う危険の回避：
 - ランプが破裂した場合、3M に認可された修理業者に電話して修理を依頼してください。破裂したランプの修理をユーザーが行うことはできません
 - 破裂したランプの破片に触れた場合、手をよく洗ってください
 - ランプの破裂が発生した場所の換気をしてください。ランプは、高圧および高温で動作します
 - ・ 危険電圧、および衝撃、および転倒、および強烈な可視光線に伴う危険の回避：
 - 本プロジェクターを使用する際は、周囲の子供に注意を払ってください
 - ・ 筋肉の酷使に伴う危険の回避：
 - プロジェクターの取り付けまたは取り外しは、常に2人以上で行ってください
 - ・ 衝撃および挟まれることに伴う危険の回避：
 - 3M から支給された壁取付金具のみを使用してください
 - 全ての取扱説明書に注意深く従ってください
 - 取付金具が強固な構造にしっかりと固定されていることを確認してください
 - ネジが、壁取付板に、正しく固定されていることを確認してください
 - ・ 衝撃に伴う危険の回避：
 - 平坦または水平な平面上でのみ使用してください
 - 振動、移動または衝撃の危険性の傾向がある構造上で使用しないでください
 - 投影アームに力を掛けたり重さを加えたりしないでください
 - ・ プロジェクターに関係する種々の災害に伴う危険の回避：
 - インストールおよびご使用前に、製品安全ガイドに記載されている安全情報を全てお読みになり、ご理解の上、順守をお願いします
- 無線妨害に伴う危険の回避
- この製品は、クラス A の製品です。 国内環境において、本製品は、ユーザーが適切な対策を講じることを要求され得る無線妨害を引き起こす場合があります

⚠ 警告

- ・ 鋭いもの、ランプの初期故障、水銀への暴露等に伴う危険の回避：
 - ランプ モジュールは壊れやすいので、常に注意して取り扱ってください
 - ランプ交換のメッセージが表示されたらランプ モジュールを交換してください
 - ランプ モジュールの交換に、使用したことのあるランプ モジュールを使用しないでください
- ・ 挟まれることに伴う危険の回避：
 - 位置が可変の腕輪を留めたり外したりするときに用心してください
- ・ 爆発および液漏れする電池から出る化学物質に伴う危険の回避：
 - 単 4 電池でのみご使用ください
 - 電池のプラス(+)端子とマイナス(–)端子の向きは、リモコンにあるマークに従ってください
 - 電池を長期間リモコンに入れたままにしないでください
 - 電池を加熱、分解、短絡、再充電したり、火または高温に晒したりしないでください
 - 電池を固定せずに、ポケットまたは財布に入れて運ばないでください
 - 電池が液漏れする場合、目や皮膚に付かないようにしてください
 - 使用済みの電池と未使用の電池を混ぜないでください
- ・ 転倒および衝撃に伴う危険の回避：
 - 電源コードおよびデータケーブルは、人がつまずかないような位置に置いてください
- ・ 電池の化学物質および鉛による環境汚染に伴う危険の回避：
 - 使い切った電池および製品構成部品は、適用される、連邦政府、州、および地域の規制に従って廃棄してください

**これらの取扱説明書の保存**

この取扱説明書に記載されている情報は、3M[™] デジタル メディア システム 800 の操作および保守役にたちます。

商標

3M ロゴおよび 3M は、3M Company の登録商標です。 Vikuiti は、3M Company の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Word、Excel、PowerPoint、Internet Explorer、および NetMeeting は、米国およびその他の国々の Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Intel および Pentium は、Intel corporation またはその関係子会社の登録商標です。

Digital Light Processing は、Texas Instruments の登録または登録商標です。

EBeam、e-Beam、eBeam Mouse、eBeam Moderator、eBeam Software、ImagePort、および eBeam Presenter は、Luidia, Inc の登録商標です。

保証、限定救済、有限責任

本製品には、ご購入日から 1 年間、材料および製造における欠陥が無いことを保証します。 3M は、特定の目的に対する市販性または適合性の暗示的な保証を含む(ただし必ずしもこれらに限定されない)他の保証を一切行いません。 上記保障期間中に、本製品に欠陥があることが分かった場合、お客様の限定救済方法は、3M の選択による、3M 製品の交換または修理、または、3M 製品のご購入金額の返済になります。 法律によって禁じられている場合を除いて、3M は、主張される法理論にかかわらず、この3M 製品に起因する、いかなる間接的、特定の、偶発的または必然的損失または損傷に対する責任を負いません。 米国外で保証を受ける場合は、本製品を購入した販売業者に、速やかに欠陥をお知らせください。 米国内では、保証または修理については、1-800-328-1371 にお電話ください。

プロジェクタの新品購入時の部品として含まれるランプの保証は、部 品のみを対象とし、プロジェクタのご購入から90日間あるいはランプ のご使用開始から180時間のどちらか先に到達する方の期間、有効で す

FCC 声明 - クラス A: 本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用し、さらに放射することが可能であり、取扱説明書に従わずに、取り付けて使用する場合、無線通信に有害な混信を引き起こすことがあります。本機は、FCC(連邦通信委員会) 規則第15章のB項—商業環境で動作させるときにこのような混信に対して適切な保護を提供することを目的とする—によるクラス” A” のコンピュータ機器に関する規制要件に基いて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されました。本機を住宅地域で使用する場合、ユーザーが、自分の費用で解消方法を採用することが必要になる混信を引き起こす恐れがあります。

EEC 声明: 本製品は、EMC(Electro Magnetic Compatibility:電磁両立性) に対する 89/336/EEC (European Economic Community:ヨーロッパ経済共同体) に則って試験を行い、その要求を満たしています。

箱の中身

発送品

デジタル メディア システム 800 は、標準の VCR、PC またはラップトップコンピュータとの接続に必要なケーブル類と一緒に出荷されます。 注意深く開梱して、下に示される全ての項目があることを確認します。 これらの項目の内、どれか洩れているものがある場合、購入場所にご相談ください。

1. デジタル メディア システム 800
2. リモコン（単 4 電池 2 個が装入されています）
3. ユニバーサル電源ケーブル（4.5m）
4. コントロール パネル
5. オペレーターズ ガイド

梱包材の保管

デジタル メディア システム 800 が修理のために、3M サービスセンターに発送することが必要になる場合に備え、発送箱および梱包材を保管します。 プロジェクターを保護するために、梱包材を使用します。

次に行うこと

少し時間を取ってデジタル メディア システム 800 の機械特性に精通し、それから据付けを行い、システムのセットアップを行います。

この高性能の製品を、打合せ、プレゼンテーションおよび講習会に楽しんでご使用いただければ幸いです。本製品は、末永く、円滑に、故障無くご使用いただくことを確実にするために、3 M の最高の品質および安全の規格に従って生産されました。

製品説明

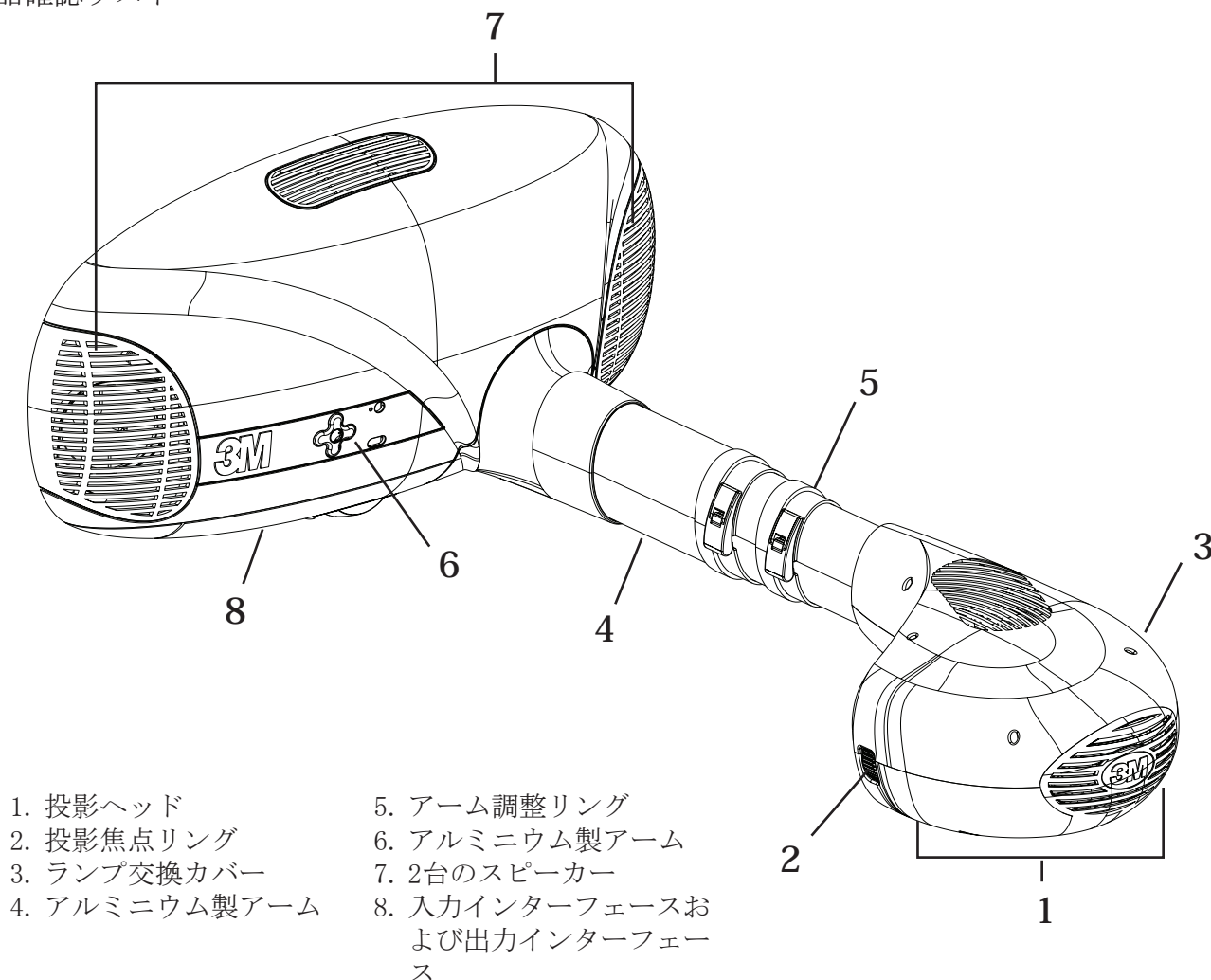
機械特性

デジタル メディア システム 800 には、金属ハライド ランプおよびデジタル光プロセッサ (DLP) 技術が統合されています。DMS 800 は、コンピュータ ソースおよびビデオ ソースから入力を受け入れ、超高輝度画像を映します。

デジタル メディア システム 800 は、以下の特徴を示します。

1. 画面 0.7 インチ DDR DMD 投影システム
2. Vikuiti™ 超接近投影 (SCP) 技術
3. VGA/SVGA/XGA/SXGA/MAC/(UXGA) PC 互換
4. NTSC/PAL/SECAM/コンポジット/S bビデオ/構成要素 (YPbPr/YCbCr)/SDTV (480i、576i)/EDTV (480p、576p) /HDTV (720p および 1080i) ビデオ互換、1670 万色の表示能力
5. 自動映像同期 (自動 - トラッキング/周波数/位置調整/ソース検出/位相検出)
6. 自動的にユーザーの設定を保存します。
7. 自動的にユーザーの設定を保存します。
8. 内蔵型の20W スピーカー2台
9. コンパクト P-VIP ランプの熱の再襲来に対する自己保護タイマー

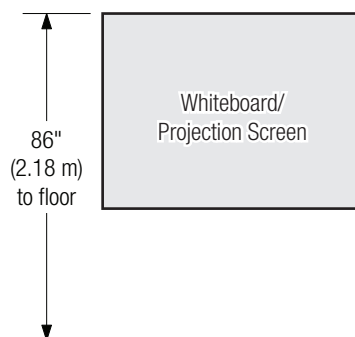
部品確認リスト



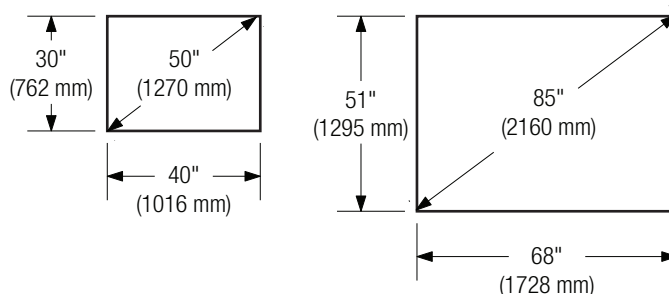
据付けおよびシステム セットアップ

プロジェクターの組立て

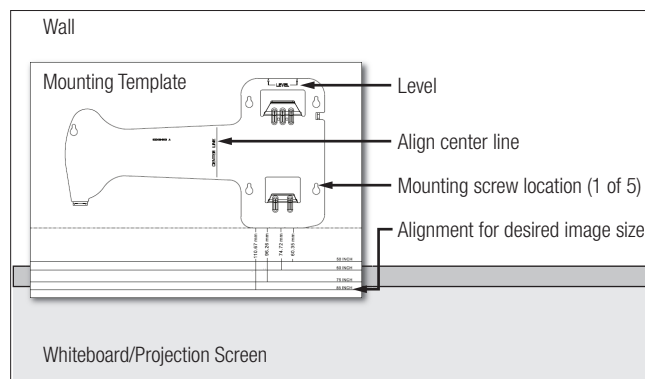
1. 望ましい位置の台紙板。スクリーンの上は少なくともあるべきである 86"



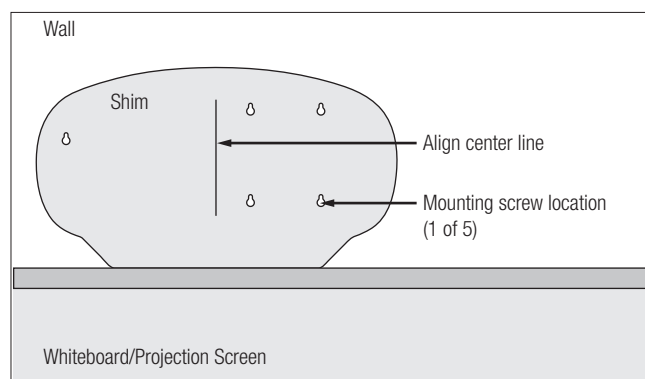
2. ホワイトボードを組立てます。スクリーンサイズを決めるために、85インチ線および50インチ線の2本の横線があります。ホワイトボードを、85インチ線に合わせると、スクリーン サイズは、85インチになります。ホワイトボードを、50インチ線に合わせると、スクリーン サイズは、85インチになります。



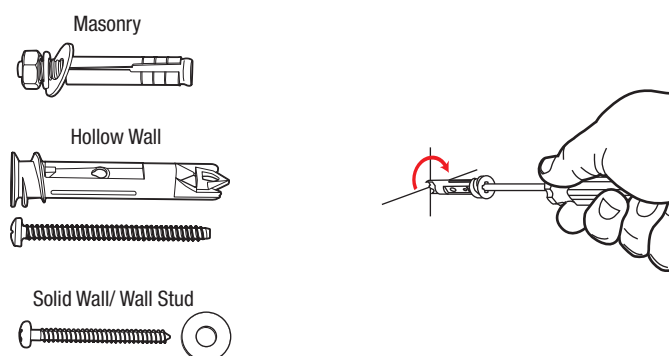
3. (Digital Media System 800、815 だけ) スクリーンの上の壁にペーパー土台の型板を付けなさい。型板の中心線は望ましい投射部の中心と一直線に並ぶべきである。イメージのサイズに従ってスクリーンの上と型板の適切なラインを一直線に並べなさい。型板の“水平な”ラインがレベルであることを確認しなさい。壁の5つの取付けねじの位置に印を付けなさい。型板を取除きなさい。



4. (Digital Media System 810 だけ) スクリーンの上の土台のシムを休ませなさい。シムの中心線は望ましい投射部の中心と一直線に並ぶべきである。壁の5つの取付けねじの位置に印を付けなさい。シムを取除きなさい。イメージのサイズに従ってスクリーンの上と型板の適切なラインを一直線に並べなさい。型板の“水平な”ラインがレベルであることを確認しなさい。壁の5つの取付けねじの位置に印を付けなさい。型板を取除きなさい。



5. あなたの壁のタイプと使用するために適切なアンカーを定めなさい。マーク付きの位置に5つのアンカーを取付けなさい。取付けなさい、しかし、5つの取付けねじきつく締めてはいけない。

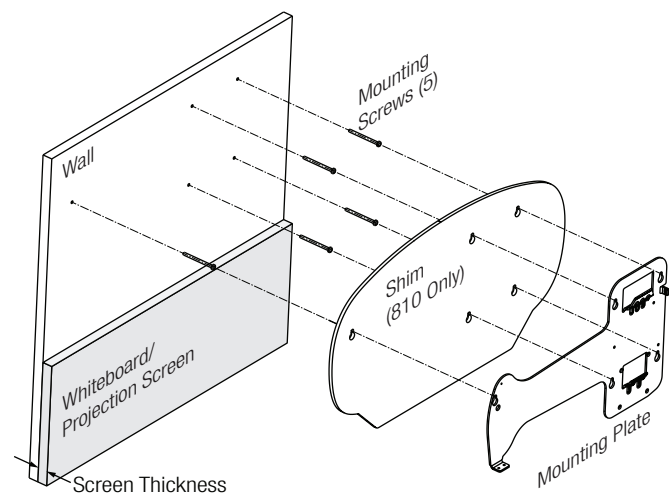


6. (Digital Media System 810 だけ) 必要とされるシムの数を定めるためにスクリーンの厚さを測定しなさい。

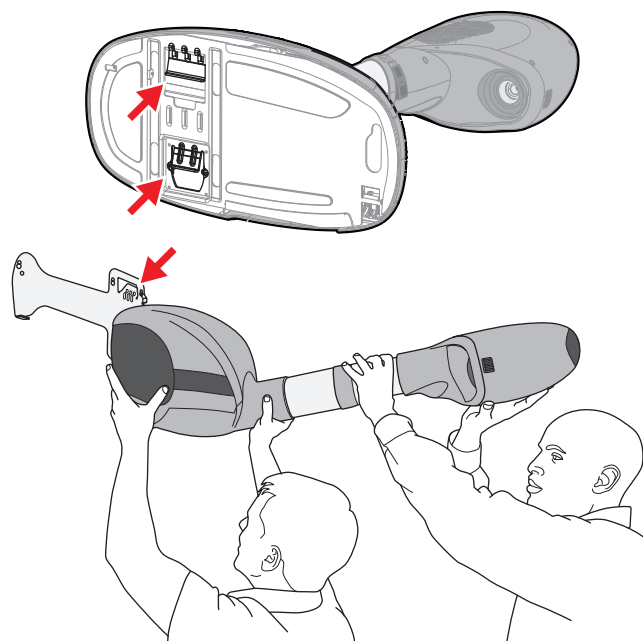
Screen Thickness	Number of Shims
0–1" (0–25 mm)	0
1–1.25" (25–32 mm)	1
1.25–1.5" (32–38 mm)	2
1.5–2" (38–51 mm)	3 (maximum)

ねじの土台のshim(s) を掛けなさい。

7. ねじの金属マウンティングプレートを掛け、しっかりきつく締めなさい。

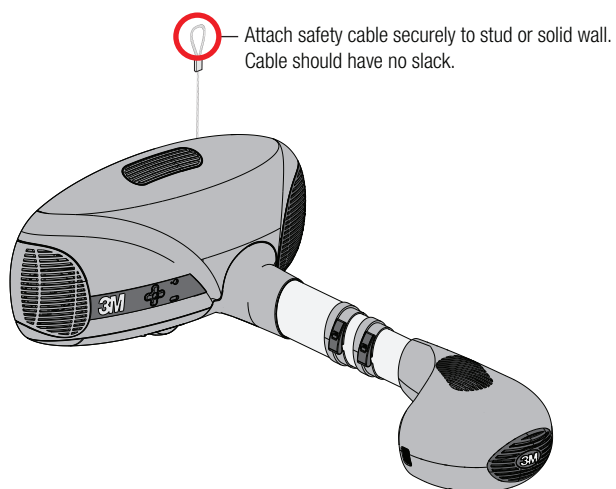


8. 金属マウンティングプレートの単位を一直線に並べ、引っ掛けることによってプロジェクターを掛けなさい。注: 錠ピンを従事させている保障しなさい。単位がにしっかりあればかちりと言う音を聞くべきである。

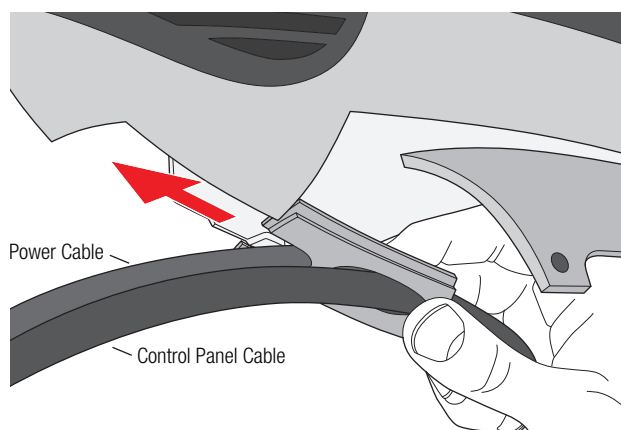


9. 2人を使用して、わずかに単位がマウンティングプレートでロックされていることを確かめるために単位で押上なさい。

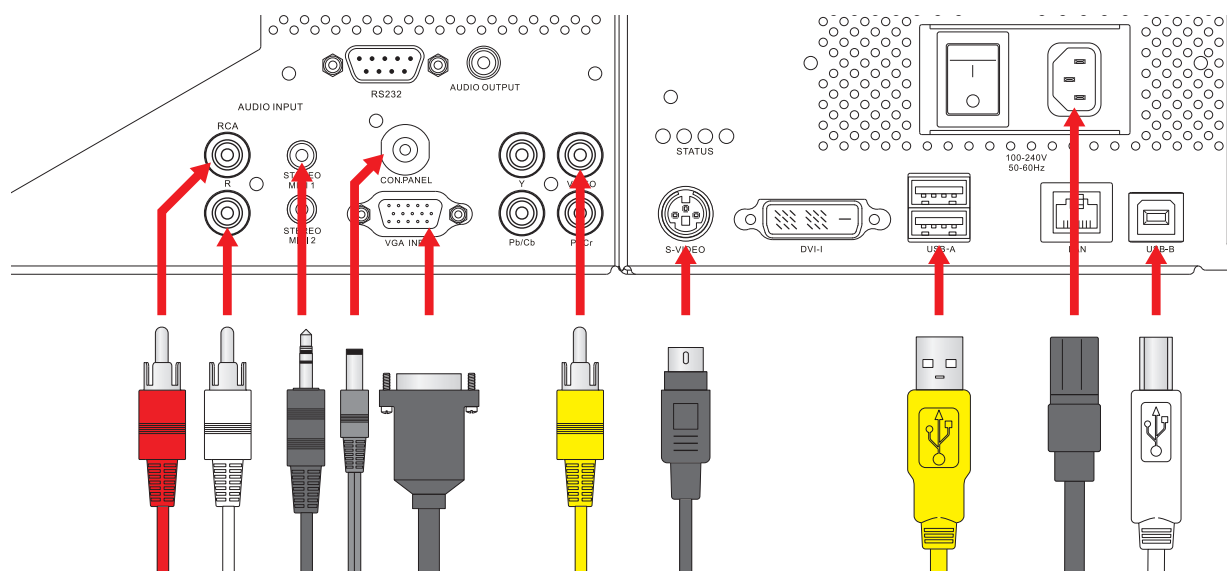
10. 安全革ひもを取り付けて、壁面での位置を固定します。



11. 単位の左下でスロットにcontrol のパネルケーブルタブを滑らせなさい。

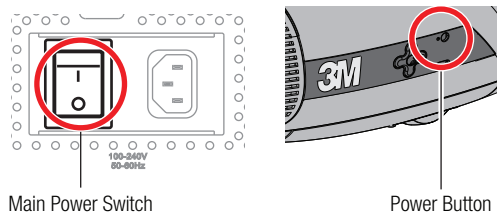


12. 示されているようにコントロールパネルおよび送電線を接続しなさい。

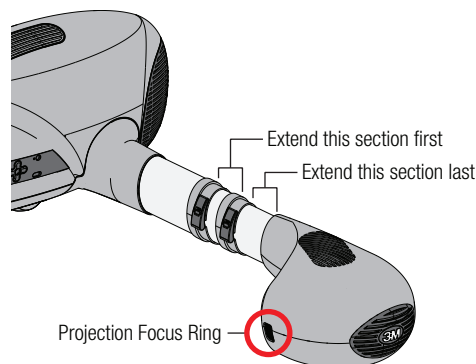


13. (Digital Media System 815 だけ) 相互オペレータのガイドのためにデジタル媒体システム815 eBeam ソフトウェアの注釈のポッドを付けなさい。

14. プロジェクターを起動します。



15. 望ましいイメージのサイズを達成するためにプロジェクター腕の長さを調節しなさい。クランプをゆるめ、腕を滑らせ、そしてクランプをきつく締めることによって基礎に最も近い腕のセクションを最初に拡張しなさい。必要とされるに応じて腕の第2セクションを拡張しなさい。

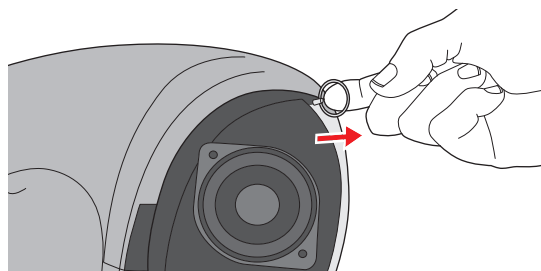


16. 投影ピント リングを調整してピントを合わせます。

17. スクリーンのイメージの位置を調節するためには、デジタル媒体システムを800 のシリーズイメージの直線ガイドを参照しなさい。

18. 壁からプロジェクターを取除くためには、右のスピーカーのグリルを取除き、錠リングを引き出しなさい。注意深くマウンティングプレートからプロジェクターを持ち上げなさい。

錠リングはスピーカーハウジングのコーナーの鍵を開けられた位置で休憩にそれを滑らせることによって一時的に保たれるかもしれない。



プロジェクターのリモート コントロール

リモート コントロール機能

リモコンを映写スクリーンまたはセンサーに向けます。希望するリモート ボタンを押して、プロジェクターに信号を送ります、



電源: プロジェクターの電源オン/オフ

ポインター 映像上でカーソルを移動(指示) させます。

メニューのナビゲート。

マウスを左クリックします

マウスを右クリックします

入力: 選択の確認用入力ボタン。

入力: 選択の確認用入力ボタン。

音量 +: スピーカーの音量増加

音量 -: スピーカーの音量低減

メニュー: システムメニューの表示

消音: オーディオ サウンドのオン / オフの切り替えを行います。

再度押すと元の映像にもどります。

ズームイン: 表示映像のサイズを小さくします。

消音: オーディオ サウンドのオン / オフの切り替えを行います。

基本操作

プロジェクター起動

デジタル メディア システム 800 を操作する前に、安全情報をお読みください。全てのケーブル接続が完了すると、プロジェクターは、電源を投入できます。

1. ケーブルの接続時は、プロジェクターおよび入力ソースへの全ての電源をオフにします。
2. ケーブル プラグまたは入力端子のピンを曲げないように注意しながらケーブルを接続します。
3. コントロールパネルの主電源スイッチを押してオンにします。赤色のLED表示器が点灯し、電源が入っていることを示します。
4. リモコンのスタンバイ ボタンを押してランプを点灯させます。スクリーン上に画像が現れ、明るくなると赤色の LED表示器が緑色になります。
5. 最良の画像になるようにリモコンのズーム ボタンを調整します。
6. コンピュータソースおよびビデオソースの電源を入れます。

スタンバイ モード

プロジェクターを使用していないときは、スタンバイ モードにします。

1. リモコンのスタンバイ ボタンを押します。
2. ランプのスイッチがオフになり赤色の LEDが点灯します。

メモ：ファン モーターは、プロジェクターの温度が下がるまで、2 ～ 3 分運転し続け、それからファンは止まります。

3. リモコンのスタンバイ ボタンを再度押すと、ランプが点灯し、スクリーンに映像が映し出されます。

プロジェクターの電源故障

1. コントローラーのスタンバイ ボタンを押してプロジェクターをスタンバイ モードにします（赤色のLED 点灯）。
2. 冷却ファンが停止し、LEDが消灯するまで待ちます。

メモ：ファンが停止する前に主電源をオフにすると、映写用ランプの寿命を縮めます。

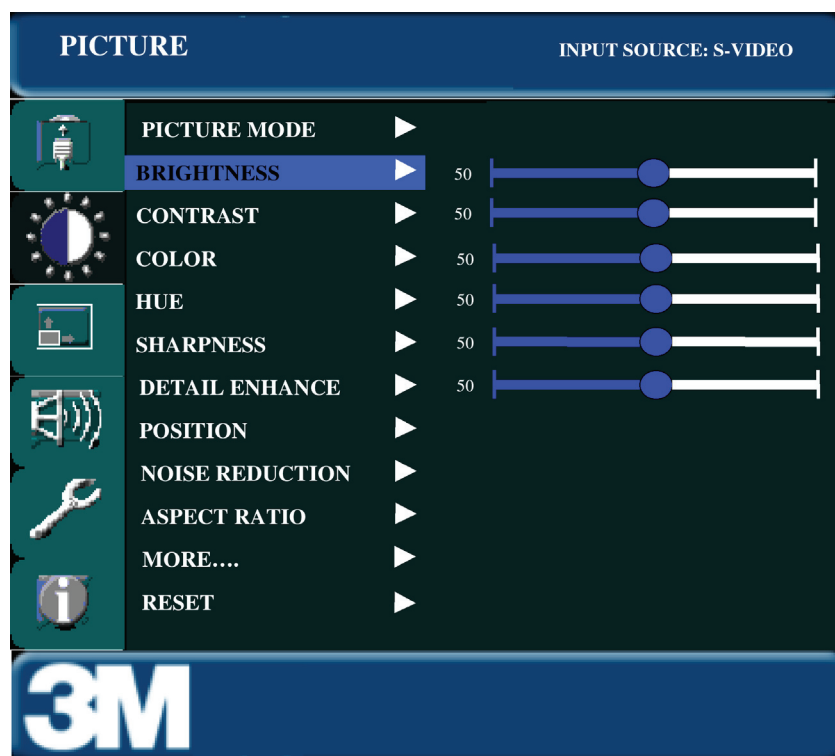
3. コントロール パネルの主電源スイッチを押してオフにします。
4. 入力装置の電源をオフにします。

画像調整

1. 光学エンジン（頭部）調整ネジを公称高さに設定します
2. アーム取付調整ネジを公称高さに設定します
3. 土台傾斜調整ネジを公称高さに設定します
4. 画像サイズを60 インチ+/- 0.5 インチに調整します
5. 画像が目標に位置するように頭部調整ネジを調整します
 - 画像の中央上部を目標の中央上部にあわせます
 - 映像の頂部線の傾斜を傾斜仕様内に収めます。
6. 頭部調整ネジが調整範囲を越える場合は、土台のみを調整します
7. 右 / 左キーストーンに対し、土台を調整（右の高さ - 左の高さ）します
8. 頭部の位置を調整します
9. 上端 / 下端キーストーンに対し、土台を調整（上端幅 - 下端幅）します
10. 頭部の位置を調整します
11. 仕様に合わせる必要に応じて4から10までを繰り返します
12. 全ての調整をロックします

メニュー ナビゲーション

殆どの調整および設定は、メイン メニューおよびサブメニューで行えます。メニューを表示させ、ナビゲートするには、ユニット上のプロジェクターのメニュー キーパッド ボタンまたはリモコンのメニュー ボタンを押します。メニュー キーパッド矢印ボタンまたは方向ノブを使用してメニューを進みます。入力ボタンをクリックしてメニュー項目を変更します。

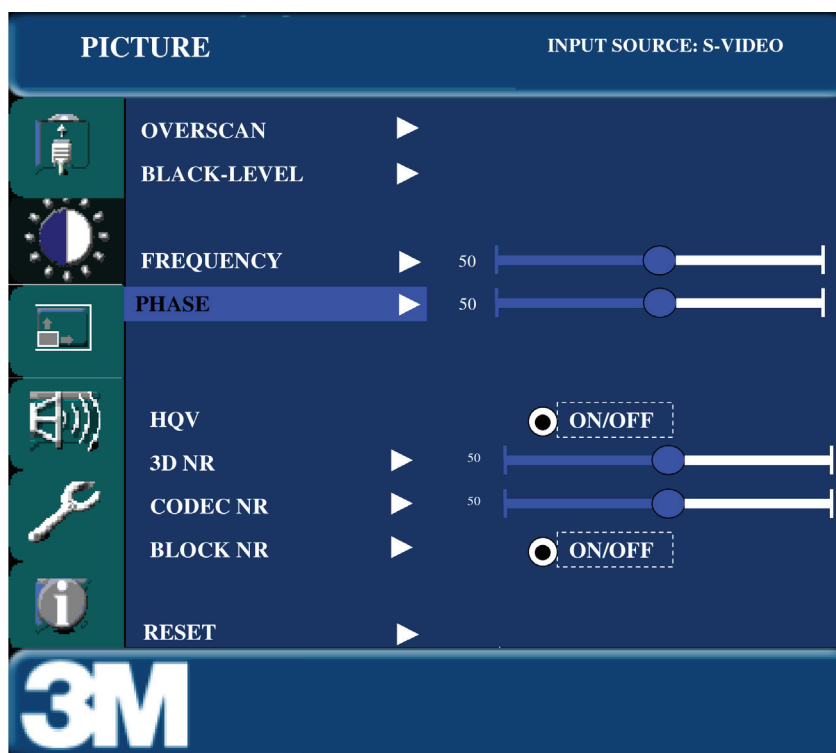


画像モードオプション

DMS 800	説明	
画像モード	画像モードは、ユーザーが、自分のプログラムの種類に合うように、単にプロジェクターの画像の設定を最適化できるように、提供されます: 1) テレビ 2) ビジネス 3) 映画 4) スポーツ	色彩、調整値は変化しますが、ユーザーは、画像モードに関連して色彩設定を調整します。 画像モード変更 1) 色温度 2) ガンマ表 3) 輝度 4) コントラスト 5) 雑音低減
輝度	画像の明るさを調整します。設定をより高くすると、それだけ画像は明るくなります。設定をより低くすると、それだけ画像は暗くなります。	
コントラスト	画像の、明暗の差の、度合いを調整します。数値を高くすると、それだけコントラストの強さが増加します。	
色彩	画像の色彩の強度を調整します。	
色合い	ビデオ信号の実際的な描写に必要な、赤色対緑色のバランスの調整をします。 入力が NSTC の場合、色合いは、動作 入力が Pal の場合、色合いは、不動作 その他のコンポーネントの入力に対して色合いは動作	
シャープネス	画像が、よりクッキリ見えるか、よりソフトに見える調整します。(数値がより高くなると、詳細度増加に切り替わります)	
詳細度増加	画像の詳細を引き出します:	
位置	映像の垂直および水平の位置を調整します。VGA、DVD-I および DVD-A でのみ動作します	

雑音低減	画像に適用される雑音低減の量を調整します。4種類の設定があります： 1) オフ 2) 低 3) 中 4) 高
アスペクト比	アスペクト比には4種類の設定があります： 1) 全画面 2) 標準 3) レターボックス 4) 劇場ワイド (16:9)
追加の...	ユーザーが先端の画像設定メニューでナビゲートできるようになります。
リセット	このサブメニューの数値データのみをリセットします

表 1: 画像 サブメニュー機能 説明 →画像サブメニュー機能の説明



画像の「追加の」表示サブメニュー

選択項目	説明
オーバースキャン	オーバースキャンを90 ～ 100 パーセンタイルの範囲で変更（1 パーセンタイル単位で増加）
ブラックレベル	ブラック ペデスタル レベル 1) 0 IRE Pal, NSTC-JP 2) 7.5 IRE NSTC
位相	この機能により、ユーザーはクロック位相を調整して画像のゆがみを低減できます。（DVI-A および VGA 上でのみ動作）
周波数	画像の水平方向の幅を調整します。
HQV	HQV ビデオ処理をオンまたはオフにします
3D NR	システムにおける時間的雑音低減の量を調整します
コーデック NR	システムにおけるモスキート ノイズおよび MPEG ノイズの低減量を調整します
ブロック NR	MPEG ブロック ノイズ低減をオンまたはオフにします
リセット	このサブメニューの数値データのみをリセットします

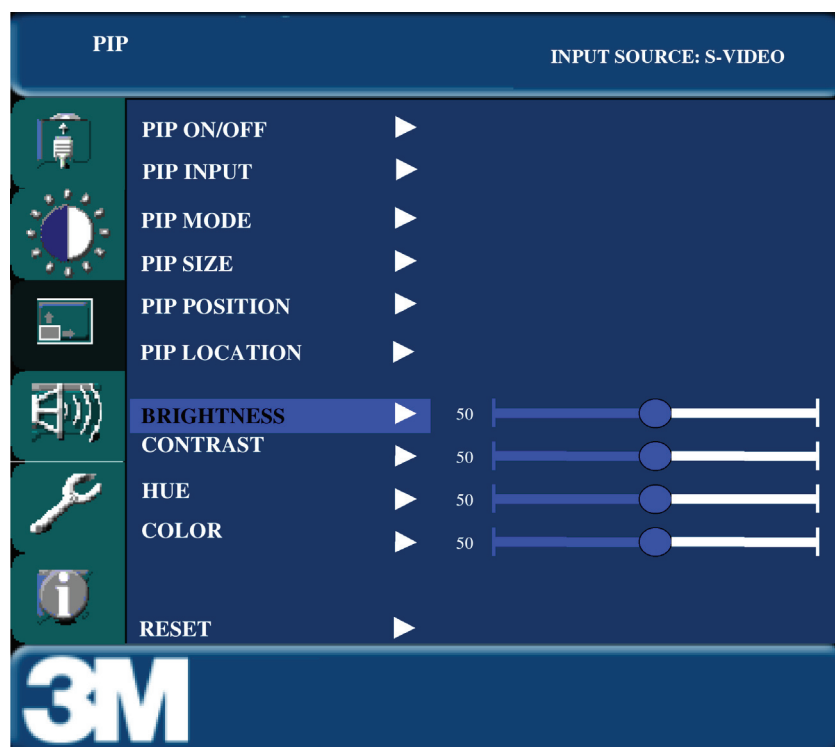
表 2: 先端のサブメニュー機能の説明 →アドバンスド サブメニュー機能の説



入力 説明 サブメニュー →入力表示サブメニュー

選択項目	説明
主入力	ユーザーが、メイン チャンネルに表示させる入力を選択できるようにします: 1) コンポーネント 2) DVI および VGA 3) コンピュータ 4) S ビデオ 5) コンボジット
音響入力	ユーザーが、処理する音響入力を選択できるようにします: 1) RCA 2) ステレオ ミニ 1 3) ステレオ ミニ 2

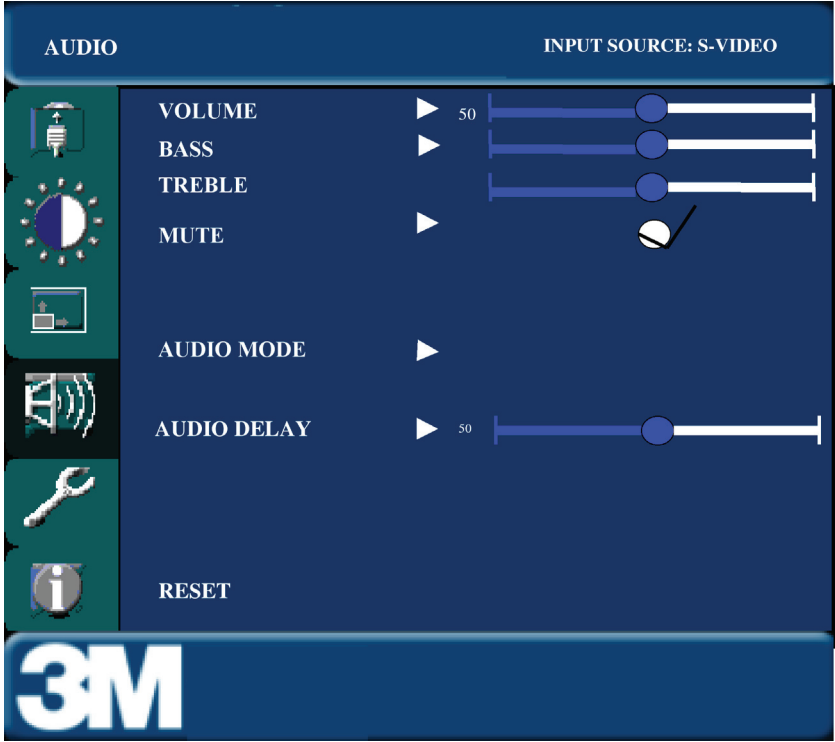
表 3: 入力サブメニューの機能の説明 →入力サブメニュー機能の説明



PIP 説明 サブメニュー →PIP 表示サブメニュー

選択項目	説明
PIP (ピクチャー イン ピクチャー)	ユーザーが PIP 機能をオンまたはオフにできるようにします。
PIP 入力	ユーザーが、メイン チャンネルに表示させる入力を選択できるようにします： 9) コンポーネント 12) S ビデオ 10) DVI および VGA 13) コンポジット 11) コンピュータ
PIP モード	ユーザーが、表示する PIP モードを選択できるようにします： 1) PIP (ピクチャー イン ピクチャー) 2) PAP (ピクチャー アンド ピクチャー) 3) POP (ピクチャー オン ピクチャー)
PIP サイズ	ユーザーが、PIP ウィンドウのサイズを選択できるようにします： 1) 小 2) 中 3) 大
PIP 位置	投影されたPIP 画像の垂直および水平の位置を調整します。 VGA、DVI-D および DVI-A でのみ動作します (入力が DVI または VGA のときのみ動作)
PIP 配置	ユーザーが、PIP ウィンドウの位置を選択できるようにします： 1) 左上 2) 右上 3) 左下、右下
PIP 輝度	PIP 画像の輝度調整。 設定をより高くすると、それだけ画像は明るくなります。 設定をより低くすると、それだけ画像は暗くなります。
PIP コントラスト	PIP の明暗の差の程度を調整します。数値を高くすると、それだけコントラストの強さが増加します。
PIP 色合い	ビデオ信号の実際的な描写に必要な、赤色対緑色のバランスの調整をします。
PIP 色彩	画像の色彩の強度を調整します。
PIP 位置	映像の垂直および水平の位置を調整します。
リセット	このサブメニューの数値データのみをリセットします

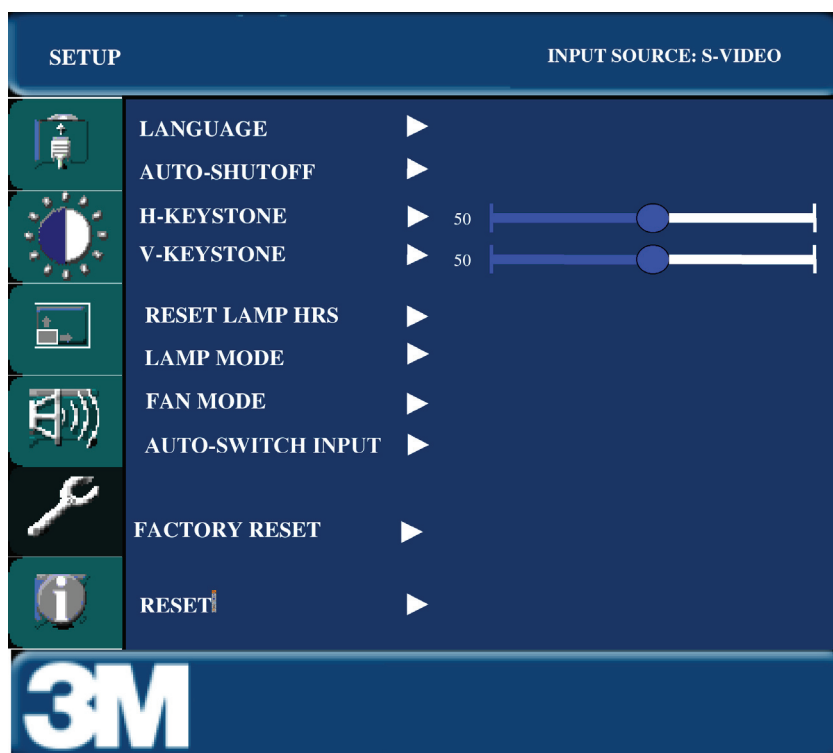
表 4: PIP サブメニュー機能の説明



スピーカー表示サブメニューの

Cobra	説明
音量	ユーザーが音量を 0 ～ 50 まで調整できるようにします。0 で音は、自動的に消音されます。
低音	ユーザーが低音を 0 ～ 10 まで調整できるようにします。
高音	ユーザーが高音を 0 ～ 10 まで調整できるようにします。
消音	ユーザーの音声のオンおよびオフの切り替え用
音響モード	ユーザーが、音響モードの変更をできるようにします
音響遅延	音響における時間遅延量を調整します
リセット	音響遅延量を、システムのデフォルト遅延から ± 100ms 調整します。

表 5: スピーカー表示サブメニューの説明

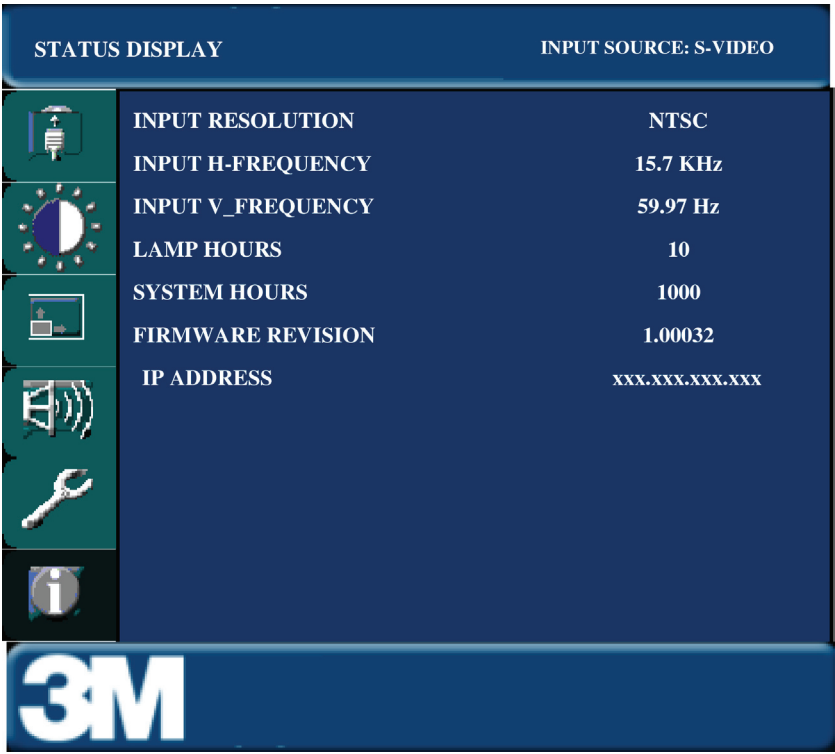


設定表示サブメニュー

選択項目	説明
言語	ユーザーがメニューの言語を選択できるようにします: 1) 英語 6) ポルトガル語 2) フランス語 7) 日本語 3) スペイン語 8) 繁体字中国語 4) ドイツ語 9) 簡体字中国語 5) イタリア語
自動停止	ユニットの電源を落とします。(アクティブ信号は無くなります) 1) 5 分 5) 30 分 2) 10 分 6) 45 分 3) 15 分 7) 60 分 4) 20 分
H キーストーン	水平キーストーン調整 (±30)
V キーストーン	垂直キーストーン調整 (± 20)
ランプ時間リセット	状態ウィンドウのランプ時間状態表示器をリセットします。
ランプ モード	1) 標準 2) エコ
ファン モード	3) 標準 4) 高
投影モード	プロジェクターは、天井に取り付けたり、スクリーンの後ろに設置したりできます 1) 前面投影 2) 後面投影
自動スイッチ入力	プロジェクターが自動的に入力信号を探すようにするかどうか設定します。ソース走査がオンになっている場合、プロジェクターは、信号を取得するまで、入力信号を走査します。この機能が、有効になっていない場合、プロジェクターは、最後に使用された入力信号を選択します。 - 機能を変更して信号を周期的に繰り返します(オン / オフ)
工場リセット	全てのメニュー項目を工場デフォルト設定にリセットします。
リセット	このサブメニューの数値データのみをリセットします

T表 6: 設定サブメニュー機能の説明

日本語



状態表示 サブメニュー

トラブルシューティング

よくある問題および解決方法		
徴候	原因	解決方法
電源をオンにできません。	電源コードが外れています。	電源コードを交流ソケットに挿入します。
	マスター電源スイッチがオンになっていません。	マスター電源スイッチをオンにします。
画像や音声が出ません。	目的の入力ソースが選択されていません。	リモコンの入力ボタンを押して目的の入力ソースを選択します。
	入力ソースからのケーブルが接続されていません。	ケーブルを正しい入力ソースに接続します。
	入力ソースがオンになっていないかまたは画像を表示していません。(たとえば、ノートブックコンピュータの場合、外部モニターポートは、オンになっていません。)	入力ソースをオンにします。
ランプが点灯しないかまたは消灯しました。	内部温度が高すぎます。	冷却ファンの網を清掃します。
	ランプが、寿命に達したかまたは、初期故障を起こしました。	ランプを交換します。
音声は聞こえますが、画像が出ません。	VGA/ ビデオ ケーブルが接続されていません。	ケーブルを正しい入力ソースに接続します。
	VGA/ ビデオ / オーディオ ケーブルが間違っただけに接続されています。	
画像が表示されますが音声が出ません。	オーディオ ケーブルは、間違っただけに接続されています。 オーディオ / ビデオの設定をチェックします	ケーブルを正しい入力ソースに接続します。 メニューを通して正しい設定を確認します
	音量が、最小に設定されています。	音量を上げます。
	消音がオンになっています。	消音をオフにします。
画像が暗いかまたは薄暗いです。	輝度の設定が低過ぎます。	輝度を調整します
	ランプの交換が必要です。	ランプの交換
目的とする入力ソースが検出できません。	入力ソースが動作していません。 選択する入力に信号が存在する必要があります。	動作している入力ソースをユニットに接続します。
	入力装置 (たとえば、コンピュータ、DVD 再生装置など) がオンになっていません。	入力ソースをオンにします

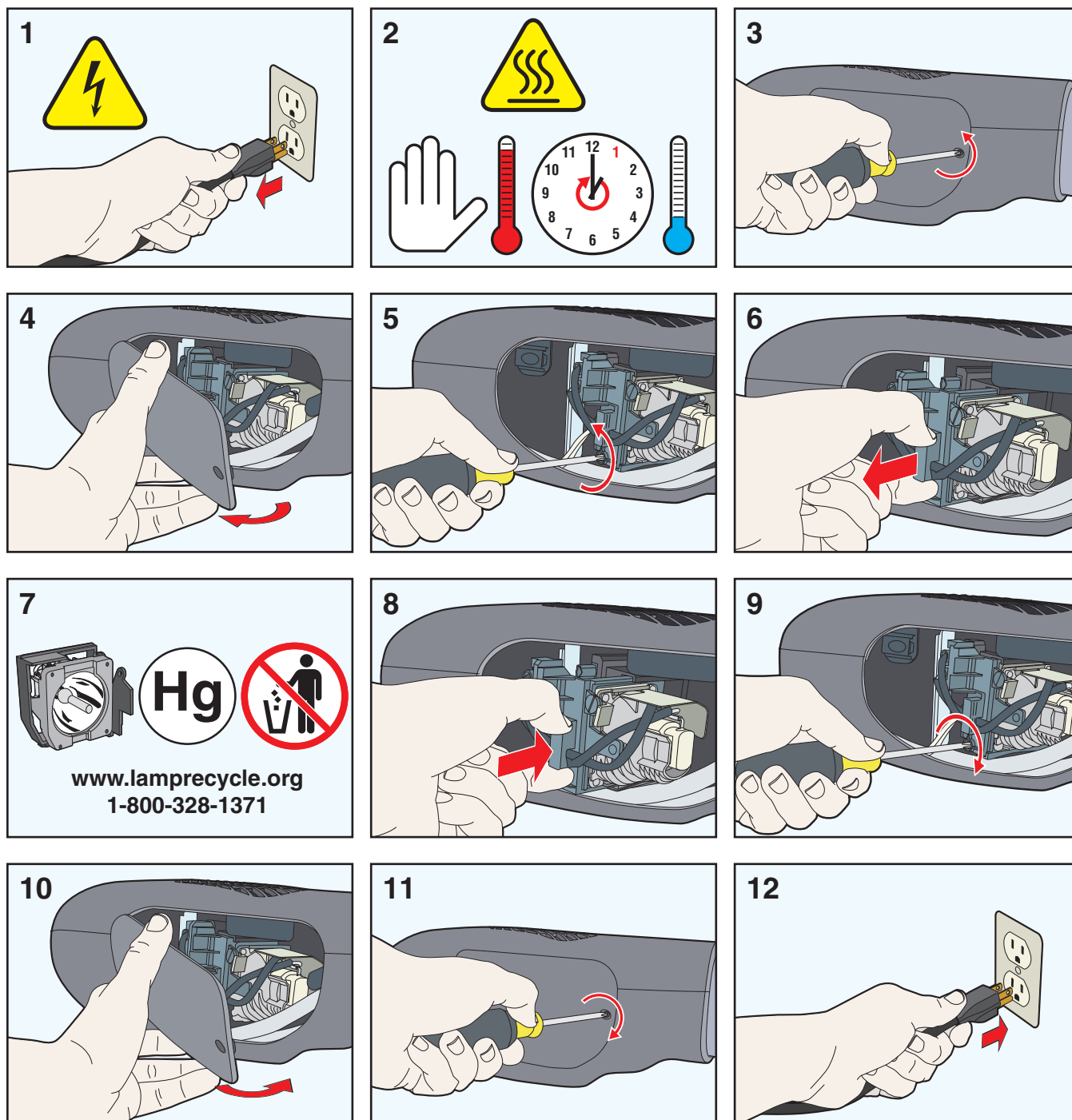
よくある問題および解決方法		
徴候	原因	解決方法
リモコンが動きません	リモコンがリモコン センサーの方向に向いていません。	リモコンをリモコンセンサーの方向に向けます。
	リモコンがセンサーから離れ過ぎています。	リモコンは、5m 以内で使用します。
	リモコンとセンサーの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
	リモコンの電池が使い切れたか間違っ て挿入されています	電池を正しく挿入します

オンスクリーン メッセージ

メッセージ	意味
入力が検出されません	プロジェクターは外部ソースから信号を受け取っていません。 ケーブルの接続をチェックし、電源がオンし、外部ソースが動作していることを確認してください。
ランプを交換してください	ランプは、1400～1499時間動作しており、交換が必要です。
ユニットは、40 分後に停止します。	ランプは、1500 ～ 1579時間動作しており、交換が必要です。
ユニットは、5 分後に停止します。	ランプが、1580 時間以上動作すると、メッセージが点滅し、電源が5 分後にオフになります。

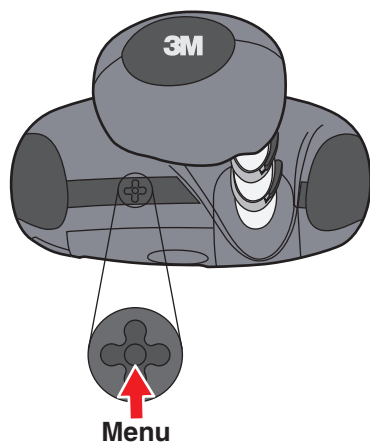
保守

映写用ランプの交換



ランプ時間リセット

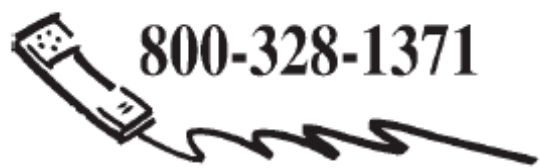
日本語



重要通達

3M の製品に係わる全ての記述、技術情報および推奨は、信頼できると思われる情報に基づいておりますが、正確性または完全性は保証しません。本製品をご使用になる前に、本製品を評価し、本製品が、目的の用途に相応しいかどうかを判断される必要があります。そのようなご使用に伴う全てのリスクおよび責任は、お客様が負われます。3M の現在の出版物に記載されていない製品に係わるいかなる記述、または注文書に記載されている、3M の現在の出版物に反するいかなる記述も、3M の、権限を付与された役員に署名された書面による了承が明示的に示されない限り、効力または効果はありません。

技術サポート窓口：



<http://www.3m.com/meetings>
e-mail: meetings@mmm.com

3M Austin Center
Building A145-5N-01
6801 River Place Blvd.
Austin, TX 78726-9000

3M Canada
P.O. box 5757
London, Ontario
N6A 4T1

3M Mexico, S.a. de C.V.
Apartado Postal 14-139
Mexico, D.F. 07000
Mexico

3M Europe
Boulevard de l'Oise
95006 Cergy Pontoise Cedex
France



10%のリサイクル素材を
含む50% 再生紙に印刷

米国 Litho
©3M 2007
78-6970-9470-0-D